



高知県佐川、漁港で握手する
学舎会員と取材（昨年7月）

それがまた、「集まること」ではなく、「自分自身をもつて集まる」と感じました。創価学会の日々の活動や「世界平和」と人の幸福といった根本目的を掲げた上で、自先の目標はまさに「自ら生まれること」でした。

気付かないことにすます。
自分の距離感づいても
むずかしい。復興支援活動をしていく中でよく聞かれるのは、復興され自体をもつていた人、集団が、いろいろ意識する瞬間です。例えば、「復興のため」と掲げてイベントを開いてきたところなどは、復興が進むことは、自分がなっていなかったりする。現代社会の病に通じる問題だと思います。

例えず、「田舎地蔵」のために生むる心、よく思っている人は、その〇〇といふ目的を見失つたときに、自分の力を許せば、別にいいのです。別に自分の距離感についても、普段から懶みを打ち明けら

れて、不寛容にならぬ。自傷行為や暴力に走る人の背景には、同じような状況がある場合も、考えられます。

この目的についても、普段から懶みを打ち明けら

れることはなく、「集まること」と「お詫び」といって、それ自体に価値を置いてしまいます。

われ身近なコミュニケーションがあります。COMUNICATIYEには、三つの種類があります。

第一に、生まれながらにして所属が決まっているような地域や血縁といったCOMUNICATIYE。第二に、学校や会社など何かの目的を持ったCOMUNICATIYEのことです。それは組織などだから遊んだり、観光に行くた

と呼ばれています。人間は、これらのうだけだとなかなか生きていけません。

このサードフレースを増やすのが近代の基本だったのです。が、これが限界が見えつつあるように見える別に無駄な交流をしたくない、一人でいるのが一番自由だ。それはそれで良いのですが、孤立して生きることのリスクと裏表一体であることを重視です。

地域も血縁も超えて、目的をつに集約するなどして、どうか。

ー開拓教授は、現代社会の問題の本質を「漂白」という言葉で表現されています。どう

か。見えてくるのかといふのは、日本社会における課題です。

そこで、創価学会は、学会の方々を軸として、各地に強固なCOMUNICATIYEの基盤をつくり続けてきました。

ー開拓教授は、現代社会の問題の本質を「漂白」という言葉で表現されています。どう

か。見えてくるのかといふのは、日本社会における課題です。

ー開拓教授は、現代社会の問題の本質を「漂白」という言葉で表現されています。どう

か。見えてくるのかといふのは、日本社会における課題です。

ー開拓教授は、現代社会の問題の本質を「漂白」という言葉で表現されています。どう

地縁・血縁を超える

大阪では、青年世代にとっての信仰の魅力が迫った（昨年9月）

上述した、「あつてはならぬもの」として周縁化された存在

ではないのに、「色」を取り除かれ、あたかもなくなった

ことは、漂白されてしまった

状態を「漂白」と呼んでいま

す。見えてくるのかといふのは、日本社会における課題です。

ー開拓教授は、現代社会の問題の本質を「漂白」という言葉で表現されています。どう

か。見えてくるのかといふのは、日本社会における課題です。

ー開拓教授は、現代社会の問題の本質を「漂白」という言葉で表現されています。どう

か。見えてくるのかといふのは、日本社会における課題です。

「見て見ぬふり」をする時代に

幸運への責任を担つて立つ団体

外部の目線から



沖縄での取材。会館に設置された平和展示を観賞した（昨年11月）



左の画像から、「SOKAの現場」の過去の連載をご覧いただけます（電子版有料会員）。

SOKAの現場

ー生活の現場で苦しむ人を見て見ぬふりしてさなかつた創価学会の活動の根柢には、あらゆる複雑な事態にも耐え、はじほどの方向に向き合つて、続ける中道の姿勢があつまっています。そうした学舎の姿勢に迫ります。

どういった答えは、東日本大震災か

ー生活の現場で苦しむ人を見て見ぬふりしてさなかつた創価学会の活動の根柢には、あらゆる複雑な事態にも耐え、はじほどの方向に向き合つて、続ける中道の姿勢があつまっています。そうした学舎の姿勢に迫ります。それは、東日本大震災から始まります。

ー復興に立ち向かう福島から微する。つなが、仏教の中道。中道とは、自分の立ち位置を意識しながら、今は右に行っている今は左に行つて、どちらも違うという感覚を持つことです。「意識的で覚える」ことが中道であり、それは、ただ中立を捨てて、ふらふらするところとは、対極にあります。

ー福島の原発（P）の廃炉作業に取り組んでいる人々の生活や気持ちが報じられるようになります。今はまだ行つて、そこはまだシンプルではない」ということです。例えは、福島の原発（P）の廃炉作業に取り組んでいる人々の生活や気持ちが報じられるようになります。

ー創価学会が批判を受けることがあります。しかし、自分の姿勢というものは、欺瞞でもあるし、長期的に見たら危険です。つまり、ある種の立ち位置を明確にすることでもあると思います。現代は決まりきった位置がない方が、その時々で好き勝手にきれい事が言える分、楽ではありません。しかし、自分の姿勢を示さないからもした態度でいることは、欺瞞でもあるし、長期的に見たら危険です。つまり、ある種の立ち位置を明確にすることでもあると思います。現代は決まりきった位置がない方が、その時々で好き勝手にきれい事が言える分、楽ではありません。しかし、自分の姿勢を示さないからもした態度でいることは、欺瞞でもあるし、長期的に見たら危険です。

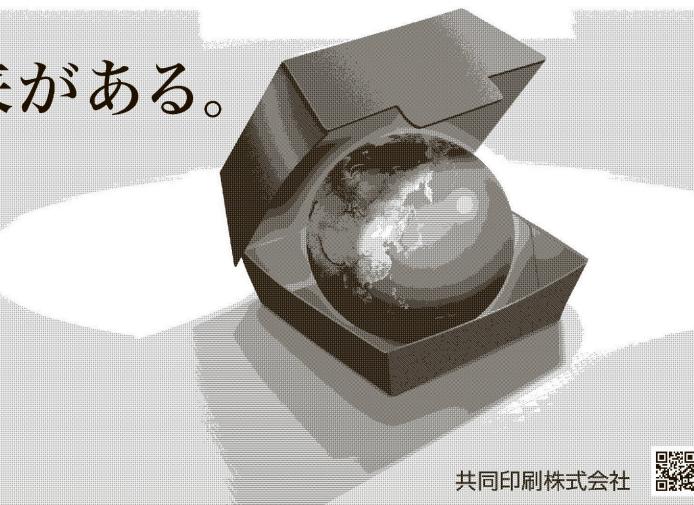
ー開拓教授は、現代社会の問題の本質を「漂白」という言葉で表現されています。どうか。見えてくるのかといふのは、日本社会における課題です。

ー開拓教授は、現代社会の問題の本質を「漂白」という言葉で表現されています。どうか。見えてくるのかといふのは、日本社会における課題です。

ー開拓教授は、現代社会の問題の本質を「漂白」という言葉で表現されています。どうか。見えてくるのかといふのは、日本社会における課題です。

ー開拓教授は、現代社会の問題の本質を「漂白」という言葉で表現されています。どうか。見えてくるのかといふのは、日本社会における課題です。

TOMOWEL



こんな分野で TOMOWEL ⑤

「SDGsの目標達成に、ビジネスを通じて貢献したい！」

でも当社の商品はプラ容器に入れない、お客様のものと届けできない…。

どうすればプラスチック原料を減らせる？ 容器を変更するなら、

ついでにユーザビリティも高めたいけど、それはさすがに難しいかな？

いえ、不可能ではありません！

TOMOWELの共同印刷なら、その要望にお応えできます。

イノベーションも、サステナビリティも。
支える、TOMOWEL。

共同印刷株式会社

